

第 13 回ヒューマニティ関連教科担当教員会議 議事録

日時： 2019 年 3 月 21 日（木・祝） 12：15～13：15

場所： 日本薬学会第 139 年会 L 会場（幕張メッセ国際会議場 1 階 104）

出席者： 54 大学 69 名（世話人含む）

配布物： プログラム

（資料 1）出席者一覧、（資料 2）講演配付資料、（資料 3）ヒューマニティ関連教科担当教員会議ワークショップ 2018 報告、（資料 4）事前アンケート結果報告、（資料 5）連絡事項

（司会：金城学院大学 大嶋耐之）

1. 講演 「臨床実習でのプロフェッショナルリズムの振り返り」（資料 2）

千葉大学医学部で専門職連携教育、プロフェッショナルリズム教育を担当されている朝比奈真由美先生による、プロフェッショナルリズムの考え方、医療者教育に取り入れる必要性、医学部におけるカリキュラムの流れなどについての講演が行われた。概要は以下の通り。

- 従来「プロフェッショナルリズム」はロールモデルから学び取る位置づけだったが、2006 年 Stern によって非正規カリキュラムに加えて正規カリキュラムが必要であると示された。
- プロフェッショナルリズム教育では、目標を明確に定義し、教員と学生で共有することが大切である。教員がワークショップ形式で考える目指すべき姿（目標）は、学生同士で考える場合と非常に似ている、あるいはほとんど同じになる。
- 実践の場で学ぶ非正規プログラムでは、ロールモデルとなる医療者がプロフェッショナルリズムを明確に理解して態度で示す必要がある。また、反プロフェッショナルな行動をとった場合は、その場でフィードバックするようにしなければならない。
- 千葉大学医学部の正規カリキュラムには 1 年生から継続して行う多職種連携教育（IPE）プログラムと 3 年生から始まる医学部単独の科目がある。正規カリキュラムを繰り返し、一貫性のあるカリキュラムを構築している。
- 非正規カリキュラムによるプロフェッショナルリズム教育を振り返る正規カリキュラムとして、数回にわたってプロフェッショナルリズムワークショップ（WS）を開催している。臨床クラークシップ（CC）後には CC 中のジレンマを具体化する WS、その後心に残る出来事（よかったこと）を振り返る WS を行う。このような振り返りとフィードバックがプロフェッショナルリズム教育の方略として効果的である。
- このほか、適時性を利用して臨時のワークショップを開くこともある。関心がある時期を逃さない効果がある。

2. 報告事項

(1) ワークショップ 2018 報告（資料 3）

2018 年 8 月 21 日に慶應義塾大学薬学部で行われたワークショップの概要が報告された。

参加者は 49 名、タスクフォース 7 名。

今回のワークショップでは前年度のワークショップのプロダクトをブラッシュアップする形で、

アウトカムの修得に向けた体系的なヒューマニティ教育のカリキュラム構築を目的とし、2つのチーム、合計8グループで行われた。参加者による事後アンケートでは、「目標－評価－方略の整合性」「授業計画の順次性」を理解した参加者が多かった。また、次回定例会のテーマとして「評価」を挙げる声が多かった。プログラムの途中で休憩時間を兼ねて行った情報交換会も概ね好評であった。

(2) 事前アンケート集計結果 (資料4)

2019年2月に依頼したアンケートの結果概要が報告された。今回のアンケートは、本教員会議の構成メンバーがどのような授業を担当しているのか把握し、次回ワークショップのテーマ検討につなげることを目的とし、75校のうち73校から回答があった。

本会議に関連した科目の開講は1年と4年が多いが、以前に比べて2,3年も増えている。ピア評価については一部の科目で導入されているに留まっているが、ループリックを利用した評価は多くの科目で行われている。複数の大学より、ループリックを紹介することに同意していただけているため、今後、情報提供を依頼する予定である。また、各大学より多くの工夫が寄せられたことが紹介された。

3. 連絡事項 (資料5)

(1) ワークショップ 2019 開催予定

次年度も本教員会議主催でワークショップを開催する。開催日は日本薬学教育学会大会の前日である2019年8月23日(金)、会場は神戸学院大学であることがアナウンスされた。

(2) 世話人交代について

2018年度をもって3名の世話人が交代することとなり、現委員長から新任の世話人が紹介された。また、委員長も交代となり新たに金城学院大学 大嶋耐之先生が就任することが報告され、出席者の賛同を得た。現委員長よりこれまでの会議運営への協力に対する感謝が述べられ、新委員長より今後も年2回(ワークショップと定例会)を企画する予定に対して引き続きご協力いただきたい旨の挨拶があった。

◎印：委員長、下線：新任

地区	2018年度		2019年度	
北海道・東北	野呂瀬崇彦	(北海道薬科大学)	野呂瀬崇彦	(北海道薬科大学)
東京・関東	◎石川さと子	(慶應義塾大学)	<u>渡邊 文之</u>	(日本大学)
東京・関東	吉永 真理	(昭和薬科大学)	吉永 真理	(昭和薬科大学)
中部	大嶋 耐之	(金城学院大学)	◎大嶋 耐之	(金城学院大学)
近畿	廣谷 芳彦	(大阪大谷大学)	<u>上町亜希子</u>	(神戸学院大学)
中国・四国	石田 志朗	(徳島文理大学)	石田 志朗	(徳島文理大学)
九州	村山 恵子	(第一薬科大学)	<u>中嶋 弥穂子</u>	(崇城大学)

以上